

Network Storage Server **D440**



データ移行ガイド

Rev.1.00
Firmware v7.00.04

■ 説明

本書ではDシリーズ旧製品(D220/D240/D340)※からD440へデータ移行する際の手順を記載しています。下記内容をご確認の上、次ページ以降の手順に沿って操作してください。

■ 使用出来る移行方法について

旧機種からD440にデータを本機の機能で移行する場合は、下記の方法が使用出来ます。

USBバックアップ > インポート

旧機種の「USBバックアップ」機能にて外付けHDDにバックアップを取って頂きますと、そのバックアップをD440にインポートすることでデータ・設定の移行が可能です(現在USBバックアップ機能を使用されている場合はそちらをそのままご利用いただけます)。

旧機種でお客様が使用されているデータ容量分の外付けHDDが必要となりますが、使用容量が多い・登録されているユーザーが多い場合でも、情報を一括でインポート出来るメリットがあります。

■ 使用できる外付けHDDについて

この手順で使用できる外付けHDDは、NTFSでフォーマットされた通常の外付けHDDです。

ポータブルHDD/SSDなどバスパワーで動作する(ACアダプタを接続する必要がない)タイプの外付けHDDについては安定して動作しない可能性があるため、使用しないでください。

■ 本機能で移行できるデータについて

お客様が作成されたデータ・ユーザー情報・基本設定を移行できます。

移行元がD240/D340の場合はグループウェアのデータも移行できます。

本体バックアップ機能でバックアップされているデータ・PCバックアップのバックアップデータは移行できません。

■ ヒント

旧機種で取得した「設定ファイル」「ユーザー管理ファイル」による移行はできませんのでご注意ください。

設定値やユーザー情報は、本手順でのみ移行できます。

またデータのバックアップおよびインポートには、データ量やファイル数に応じて相応の時間がかかりますので、時間の余裕を持って操作して頂くことを推奨致します。

インポートを行うと、D440に保存されているデータや設定は、インポートされるデータで上書きされます。

※D220/D240からD440からのインポートは、D440 ファームウェア 7.00.04以降で対応しています
D440 ファームウェア 7.00.03以前の場合はD340からのインポートのみの対応です。

■説明

まずは旧機種にて外付けHDDにデータをバックアップします。

(既にバックアップ目的で本機能をご使用で、かつ最新のバックアップが完了している場合は、この手順を行う必要はありません。次ページの手順:インポートに進んでください)

1

既存のD220/D240/D340にadmin権限でログインしてください。

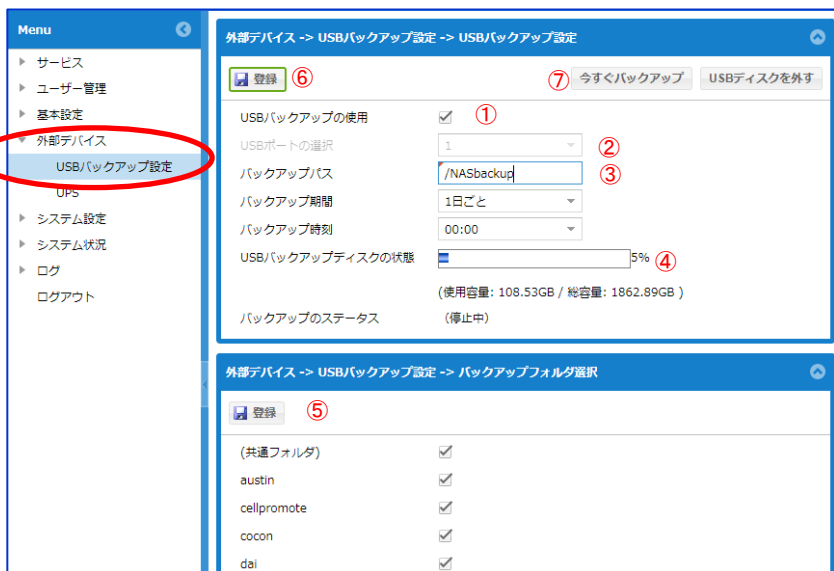
最初に、本体のファームウェアが最新版になっているかどうかをご確認ください。

最新でない場合は、最新のファームウェアに更新してから下記手順を行ってください。

2

外部デバイス > USBバックアップ設定 をクリックします。

下記の設定画面が開きます。



- ① USB/バックアップの使用にチェックを入れます。
- ② 接続したUSBポートの番号と、この画面に表示されているUSBポートの番号が一致しているかどうかを確認してください。
- ③ USB/バックアップパスを設定出来ます。基本的に標準設定のままでも構いません。バックアップデータは、外付けHDDのルートフォルダにここで指定した名前のフォルダが作成され、その中に保存されます。
- ④ 外付けHDDを正常に認識していると、この欄に現在のHDDの使用容量やトータル容量が表示されます。万一この箇所が(使用不可)と表示されている場合は、外付けHDDを正常に認識していません。抜き差しや、外付けHDDを接続した状態で本体の再起動を試してみてください。
- ⑤ バックアップするフォルダを選択します。移行の必要がないフォルダを除外したい場合は、チェックを外して登録ボタンを押してください。

上記の手順で設定を行い、最後に一番上の⑥登録ボタンを押します。

その後⑦今すぐバックアップを押下すると、即座に現時点のデータのバックアップを始めます。

■ヒント

バックアップのステータスは、この画面の「バックアップのステータス」欄に表示されます。

現在のファイルコピー状況が表示されます。

<他に動作を確認出来る箇所>

ログ>システムログ>システムログでもご確認頂けます。

USBバックアップが開始されると「USB Backup Start」、USBバックアップが完了すると「USB Backup Completed」と表示されます。

また、サービス>ファイル>(バックアップパス名) > Logsというフォルダの中にも、USBバックアップのログファイルが保存されています。こちらをダウンロードしてテキストエディタで開くと、ログを確認出来ます。

■説明

USBバックアップが終わったら、D440にてデータのインポートを行います。

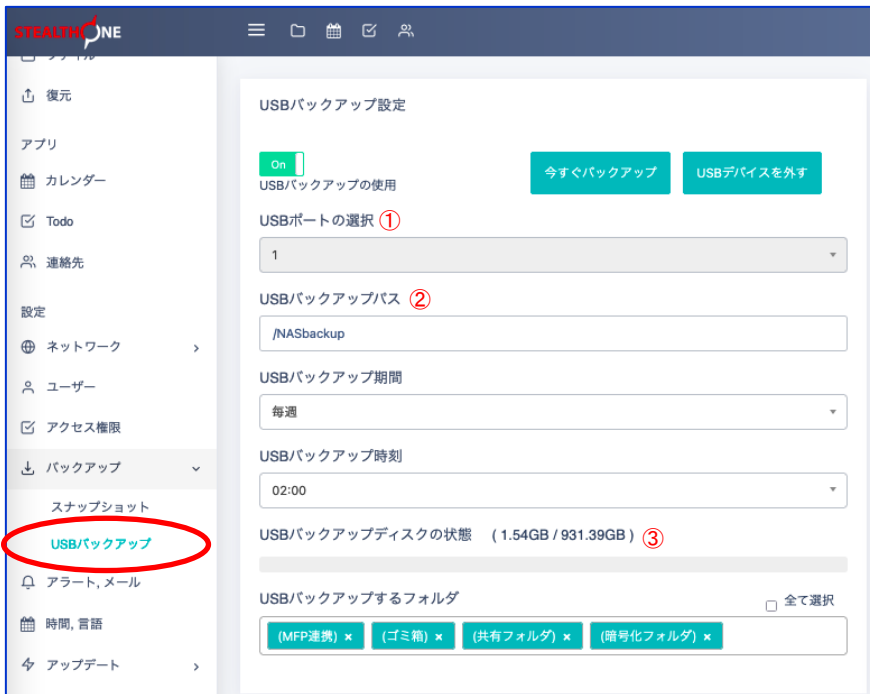
1

D440のUSBポートに、D220/D240/D340でバックアップを行った外付けHDDを接続してください。

2

D440にadmin権限でログインしてください。

バックアップ > USBバックアップ をクリックして、下記の設定画面を開きます。



最初にUSBバックアップ設定で、下記項目をご確認ください。

- ① 接続したUSBポートの番号と、この画面に表示されているUSBポートの番号が一致しているかどうかを確認してください。
- ② USBバックアップパスについては、旧機種の設定と合わせてください。
特に変更していない場合は、そのまま問題ありません。
- ③ 外付けHDDを正常に認識していると、この欄に現在のHDDの使用容量やトータル容量が表示されます。
万一この箇所が(使用不可)と表示されている場合は、外付けHDDを正常に認識していません。抜き差しや、外付けHDDを接続した状態でD440本体の再起動を試してみてください。

■ヒント

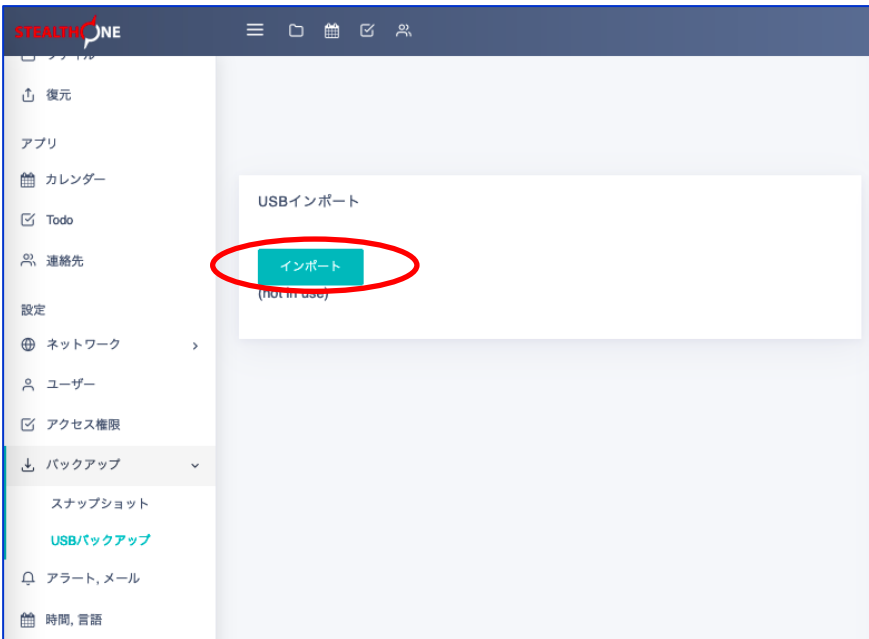
USBバックアップパスの設定が正しい場合、右側の「USBバックアップログ」に、旧機種で実施したバックアップのログが表示される場合があります。

■説明

USBバックアップが終わったら、D440にてデータのインポートを行います。

3

USBバックアップの設定画面で設定と外付けHDDの認識を確認したら、同じ画面の下部にあるUSBインポートの「インポート」をクリックします。



①インポートボタンをクリックすると、即座にデータのインポートが開始されます。

※左図のように(not in use)と表示されている場合がありますが、本画面上部の”USBバックアップの設定”で外付けHDDを認識している場合は問題ありませんので、そのままインポートボタンをクリックしてください。

インポートが正常に開始されると、設定画面右上に「Import Start」と数秒間表示されます。

4

USB IMPORT LOG

Show entries

日時	情報
2022/01/12 10:50:42	インポートを開始します。
2022/01/12 10:50:42	Restore user data: 1445 MB, RAID free space: 3747510 MB
2022/01/12 10:50:44	USBからシステムファイルはミグレートされました。
2022/01/12 10:50:46	USBからグループウェアファイルはミグレートされました。
2022/01/12 10:50:46	ユーザーの '(MFP連携)' がインポートされました。
2022/01/12 10:50:46	ユーザーの '(共通フォルダ)' がインポートされました。
2022/01/12 10:51:01	ユーザーの 'XXXXXXXXXX' がインポートされました。
2022/01/12 10:51:01	ユーザーの 'XXXXXXXXXX' がインポートされました。
2022/01/12 10:51:29	ユーザーの 'XXXXXXXXXX' がインポートされました。
2022/01/12 10:51:29	ユーザーの 'XXXXXXXXXX' がインポートされました。
2022/01/12 10:51:29	Import finished

Show 1 to 11 of 11 entries

Previous 1 Next

②インポートの実行中は、右側の「IMPORT LOG」に現在状況が表示されます。

このログは随時更新されます。この間に設定画面を閉じたり、他のメニュー項目に移動してもインポートは継続されます。

※インポート中は他の設定の調整やファイルの追加を行わないで下さい。インポートが正常に終了しない可能性があります。

③[Import Finished]が表示されたらインポートは完了です。

ただし本体を再起動するまでは、インポートされた設定は反映されません。本体の再起動を実施してください。

本体の再起動後は、設定やデータがインポートされた内容に変更されていますのでご注意ください。

■こんなときは

(1) バックアップを取りたいが、外付けHDDが全く認識されない

その外付けHDDをWindowsコンピュータに接続し、再度NTFSでフォーマットを行ってみてください。

既に別のデータが入っているHDDを使用した場合、正しく認識しない場合がございます。

またBUFFALO製の外付けHDDにつきましては、一部機器でUSB3.0ポートに接続すると正常に認識できないケースがございます。他社製の外付けHDDを使用頂くか、USB2.0ポートでご使用ください。

(2) インポートボタンを押してもインポートが開始されない

USBバックアップ設定の「バックアップパス」が旧機種の設定と異なっていないかをご確認ください。

バックアップパスの設定値でインポートデータの所在を判定しますので、この設定が異なると動作しません。

■ 注意事項

当機能は、すべてのデータ・設定情報が移行できることを保証するものではありません。

データのインポートが完了した後は、必ずデータが移行されているか、必要な設定が移行されているかどうかを必ずご確認ください。